

第3回 高知港海岸景観・利便性等検討会

アンケート調査結果（種崎千松公園）の概要について

平成29年12月14日

高知県土木部港湾・海岸課
国土交通省四国地方整備局

2-1.意識調査の目的

湾口地区種崎(千松公園)海岸保全施設並びに周辺施設における現状の利用実態、景観、防災に対する意識や関心事項を把握することを目的とした。

2-2.調査対象

- 海岸利用者(整備対象地区の利用者)
- 近隣住民(種崎地区の住民)
- 高知市民(津波浸水予想範囲の居住者)



2-3.回収票数

- 海岸利用者:197 (平日:69 休日:128)
- 近隣住民:313 (配布数1060世帯 回収率29.5%)
- 高知市民:100

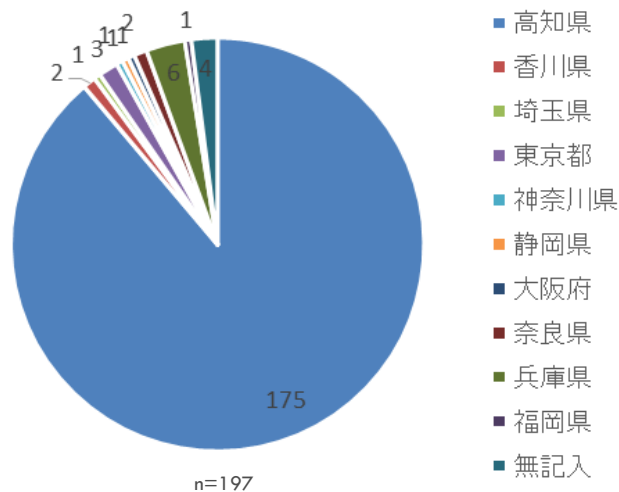
2-4.調査手法・スケジュール

調査対象	調査手法	調査実施期間
海岸利用者	現地での聞き取り調査	8月20日(日) 6:00~19:00 8月21日(月) 6:00~16:00
近隣住民	記入式アンケート調査	8月23日(水)~9月6日(水) 2週間
高知市民	Webアンケート調査	9月4日(月)~9月6日(水) 3日間

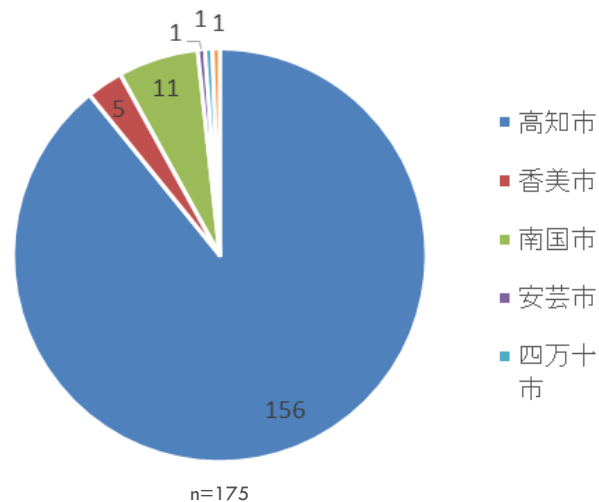
2-5.海岸利用者の居住地

海岸利用者の居住地

海岸利用者の居住地（都道府県）



海岸利用者の居住地（県内の市町村）



- 海岸利用者の居住地として、最も多い都道府県としては、高知県となり全体の89%となった。他の都道府県としては、近隣の香川県や近畿圏の大阪、兵庫、奈良、関東圏の埼玉、東京、神奈川、九州の福岡県となった。
- 高知県内の利用者の内訳としては、高知市民の割合が88～92%と高い割合の結果となった。高知市外からの利用者としては、香美市、南国市、安芸市、四万十市、本山町となった。

2-6.アンケート結果総括

- ・ 津波防護のために早期の防潮堤整備と、合わせて、景観や利便性の確保を望む声が多かった。

防災面

- ・ 人の命や財産を守るための**防潮堤整備**やその**早期完成**が望まれている。
- ・ 頻度の低い利用者にとっては、**津波避難ビル**や**避難経路**が十分に**認知されていない**。
- ・ 避難の障害として、**公園の出入口**が少ないことや**逃げる方角**が**分かりにくい**ことなどが指摘されている
- ・ 避難誘導の標識等の防災情報が望まれている。

景観面

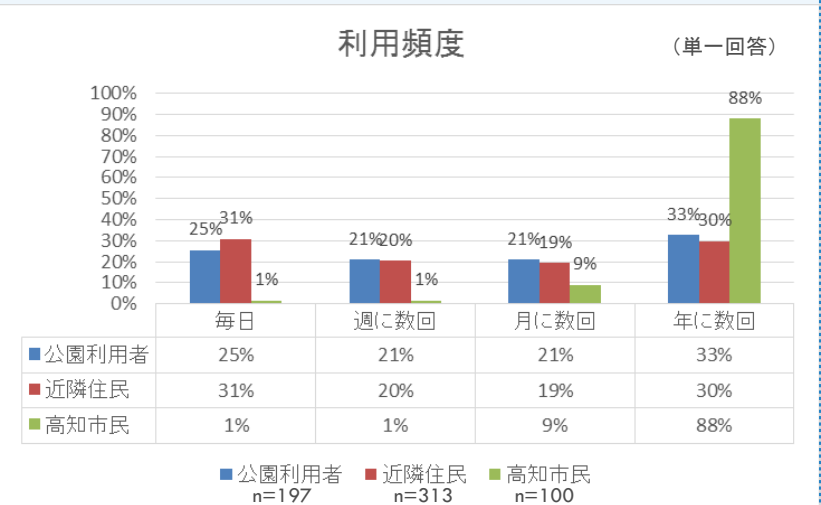
- ・ 優れた景観として、**松林**や**砂浜**、**遊歩道**の評価が高い。
- ・ 千松公園と海水浴場は**地域に欠かせない景観資源**となっている。
- ・ 海岸利用者・近隣住民・高知市民ともに**海への眺め**の**確保**や、**圧迫感**を懸念する意見が多い。

利用面

- ・ **松林と砂浜が自由に（楽に）**行き来できることや**遊歩道を歩くこと**を大切にしたいと感じている人が多い。
- ・ 防潮堤天端や前面を利用した**散策と眺め**を大切にしたいと感じる人が多い。

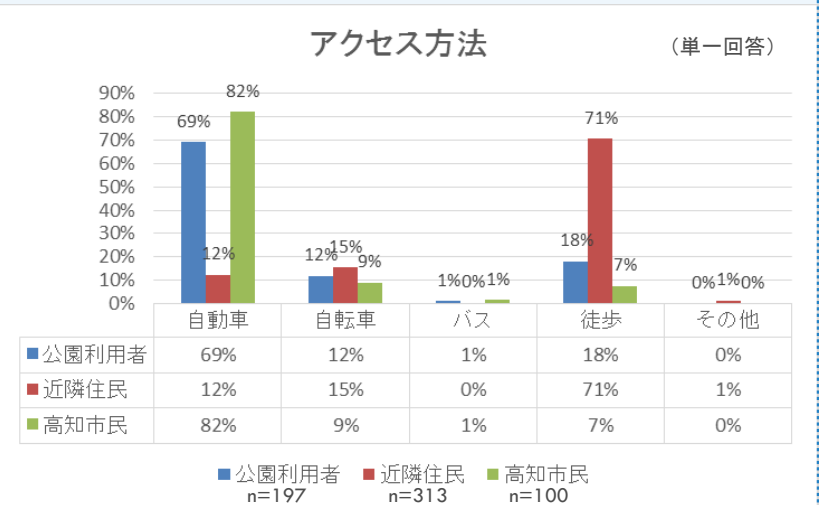
2-7. 意識調査の結果

(1) 千松公園の利用頻度



- 近隣住民や公園利用者は利用頻度が高い傾向があるが、高知市民に関しては、年に数回程度の利用頻度となっている。

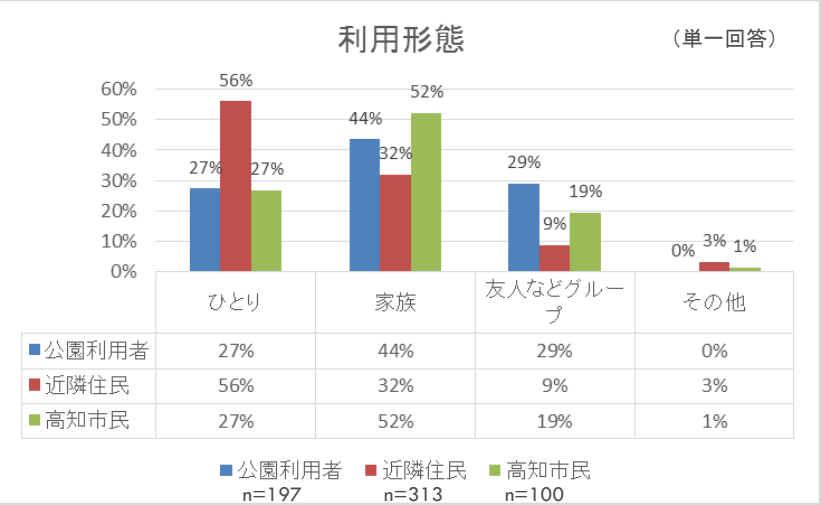
(2) 千松公園へのアクセス方法



- 公園利用者、高知市民に関しては、自動車を利用したのアクセスである。
- 近隣住民は、徒歩でアクセスする傾向がある。

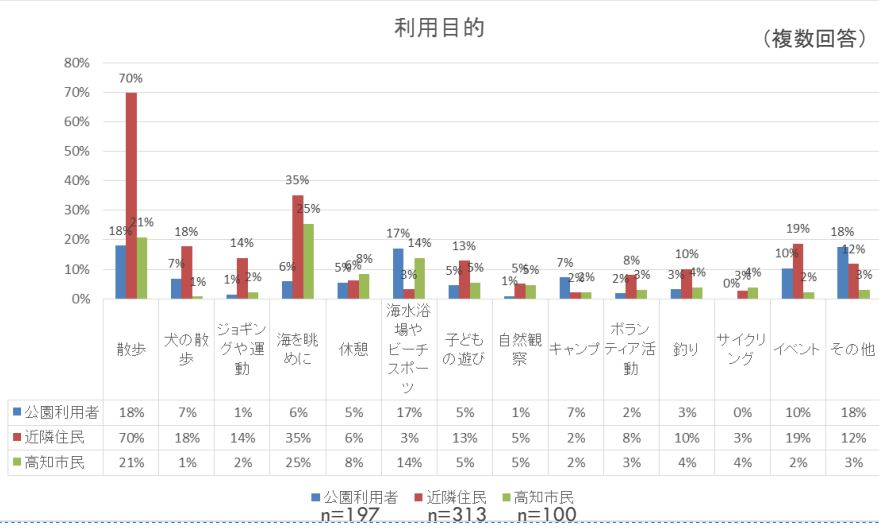
2-7. 意識調査の結果

(3) 千松公園の利用形態



- 公園利用者、高知市民の傾向は類似しており、「家族」での利用が多い。
- 近隣住民は、「家族」より「ひとり」での利用が多い

(4) 千松公園での利用目的



- 公園利用者では、「散歩」、「海水浴」、「その他(BBQ)」が多く近隣住民は「散歩」、「海を眺めに」が多く、高知市民は「海を眺めに」、「散歩」、「海水浴」が多い結果となった。
- その他の利用としては、子どもの部活、スケボーやバスケの練習、墓参りなどがあげられた。

※複数人のグループの場合には数人の代表者による回答が多かったため、上記の利用目的の集計結果は利用実数とは異なる。現地では海水浴やキャンプ・BBQの利用者が多く見られたが、これらは複数人のグループが主であった。

2

アンケート調査結果の概要（防災・景観・利用に関する意識調査）

2-7.意識調査の結果（利用状況写真）

●散歩



① 海浜公園（堤防天端）での犬の散歩



② 千松公園内の散歩

●休憩・海の眺め



⑤ 休憩所（四阿）での休憩・眺め



⑥ ベンチ・木陰での団らん



⑨ 休憩所（シェルター）での休憩・眺め



⑩ 千松公園内は日差しを避けられる休憩スポット

●自転車



③ スロープを利用して海浜公園（堤防天端）まで来る

●地元の祭り（防災夕涼み会）



④ 護岸背後のまとまった平場を利用

●アクセス



⑦ 近隣住民は公園西側の複数の出入口も利用



⑧ 駐車場：ピーク時：59台・16時台（休日）



2 アンケート調査結果の概要（防災・景観・利用に関する意識調査）

2-7.意識調査の結果（利用状況写真）

●海水浴



⑪砂浜の利用状況。海水浴客は、波打ち際にパラソルやシートを設置。

●キャンプ・BBQ



⑫朝方、階段護岸で砂浜での子どもの部活を見守る父母。
その他の時間帯は、階段護岸で留まる利用は少ない。



⑭千松公園内での大人数グループのキャンプ・BBQ



⑮千松公園内での大人数グループのキャンプ・BBQ



⑬海浜公園（堤防天端）に設置された監視所



⑮護岸背後での家族キャンプ



⑰千松公園内の遊具で遊びながらBBQ



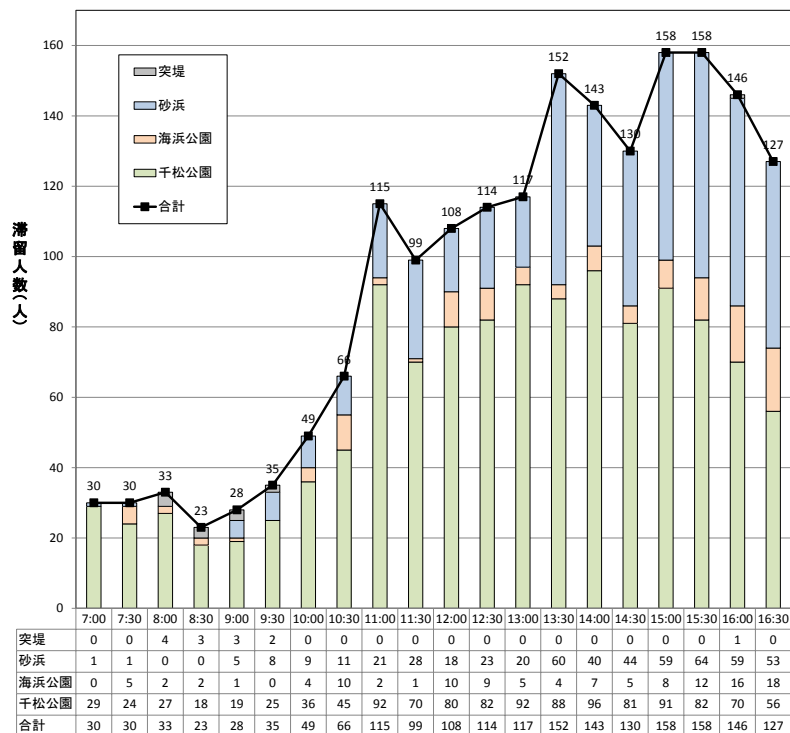
2 アンケート調査結果の概要 (防災・景観・利用に関する意識調査)

2-7. 意識調査の結果

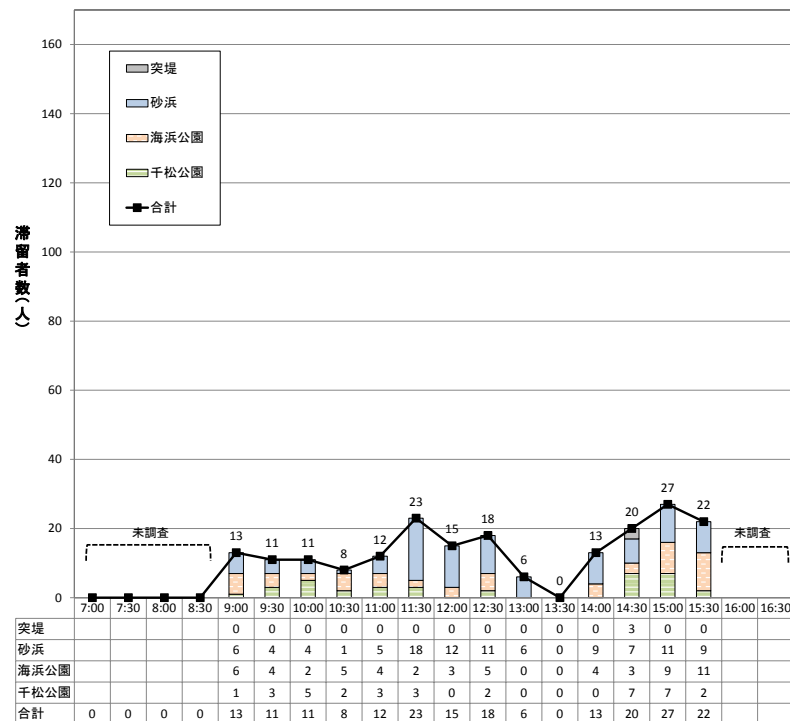
(5) 千松公園・海浜公園の利用人数 ...時間帯変動



8月20日(日) 晴れ



8月21日(月) 晴れ(夕方一時雨)



休日

- 全体的に千松公園(松林)の利用が多く、主としてBBQやキャンプなどの利用となっている。午後の時間帯から砂浜(海水浴)の利用も増えている。
- 海浜公園(堤防天端)での休憩利用は、まばらではあるが確認できた。

平日

- 休日と比べて利用者の人数は少なくなっている
- 休日に比べて千松公園の利用は少ないが海浜公園の利用は同程度になっている。

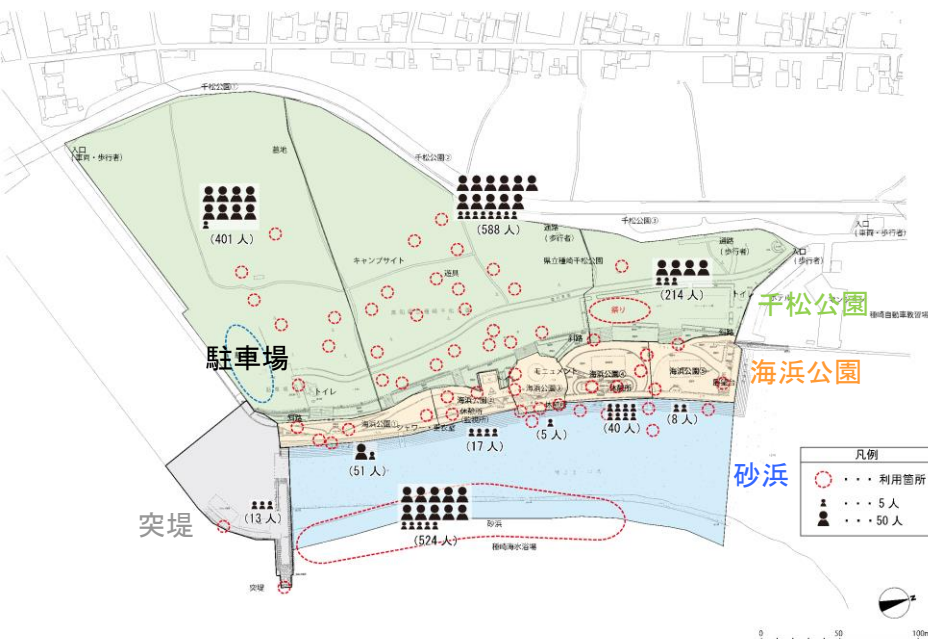
2 アンケート調査結果の概要 (防災・景観・利用に関する意識調査)

2-7. 意識調査の結果

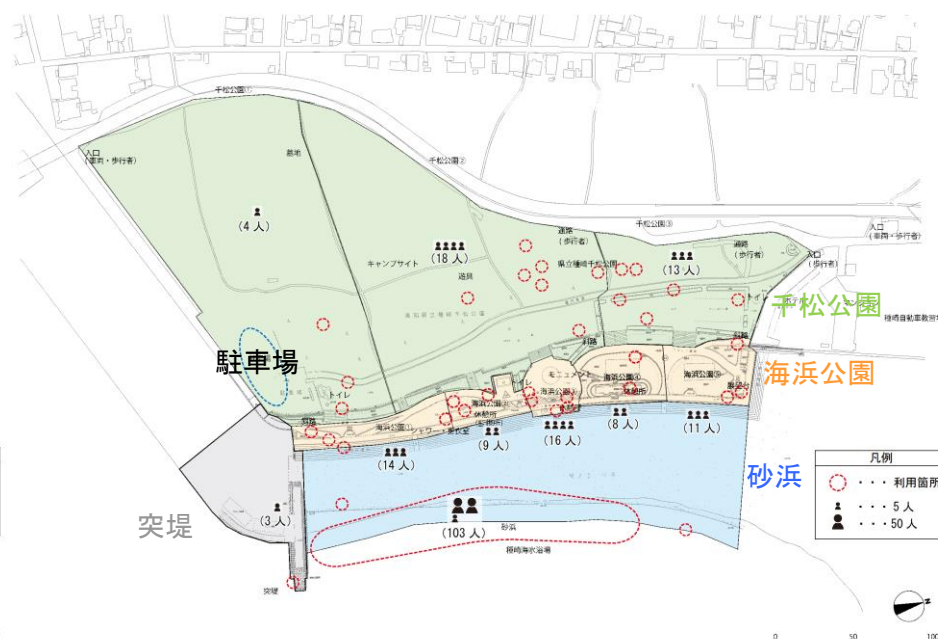
(6) 千松公園・海浜公園の利用人数 ...ブロック別集計



8月20日(日) [7:00~16:30の累計]



8月21日(月) [9:00~15:30の累計]



休日

- 千松公園(松林)では護岸背後から松林内まで広範囲に利用が見られるが、特に中央から駐車場側でのBBQやキャンプの利用が多い。
- 海浜公園(堤防天端)の利用は分散しており、特に休憩所付近や駐車場側の利用が多い。
- 砂浜の利用は、中央から南側(駐車場側)に集中している。

平日

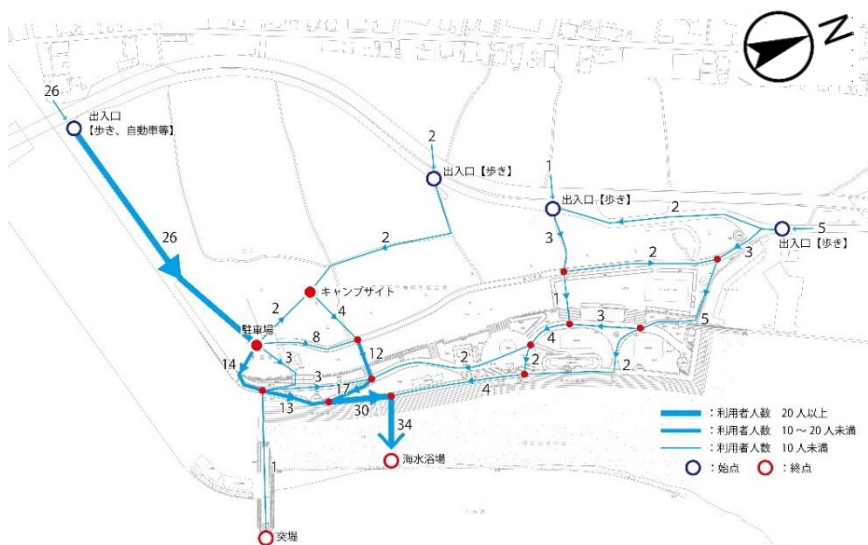
- 千松公園(松林)では、休日に比べてBBQやキャンプの利用は少なく、松林内でのベンチでの休憩が主となる。
- 海浜公園(堤防天端)の利用は分散しており、特に休憩所付近の利用が多い。
- 砂浜の利用は、休日同様に、中央から南側(駐車場側)に集中している。

2-7. 意識調査の結果

(7) 千松公園・海浜公園の動線

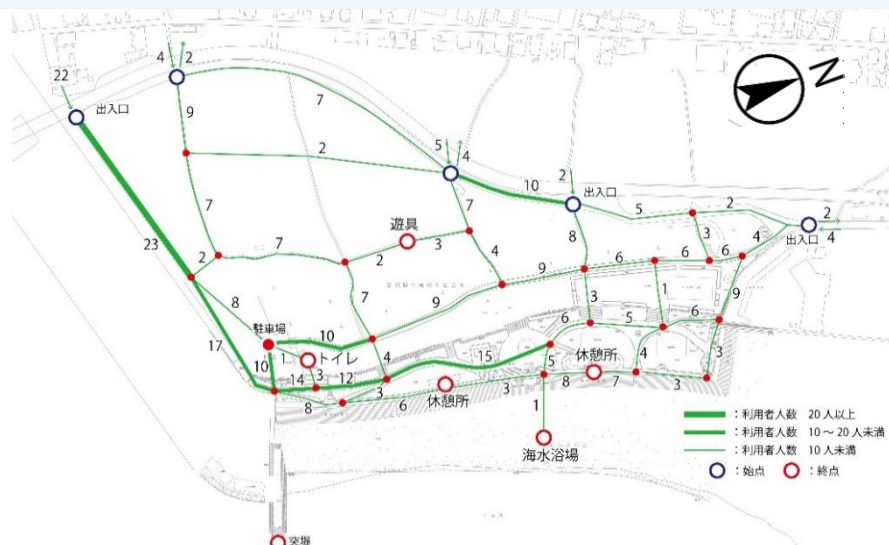


海水浴場の利用者の動線



- 海水浴場の利用者は、公園の南側の出入口を利用して駐車場にアクセスしている。
- 駐車場付近から海浜公園を經由して、南側の海水浴場を利用している。

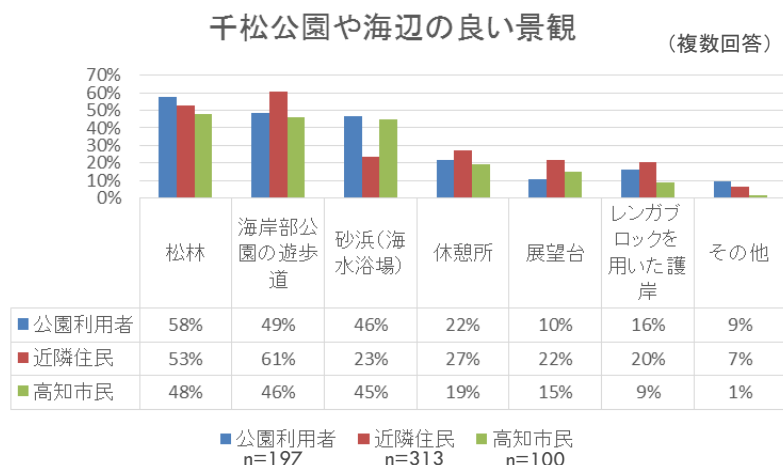
散策の動線



- 千松公園、海浜公園内を隈なく散策している。特に海が眺望できる海浜公園の南側の動線は多い傾向にある。
- 海浜公園内では南北の動線がある。
- 様々な出入口からアクセスしているが、南側の駐車場へ行く出入口が最も多い箇所となっている。

2-7. 意識調査の結果

(8) 千松公園や海辺の良い景観

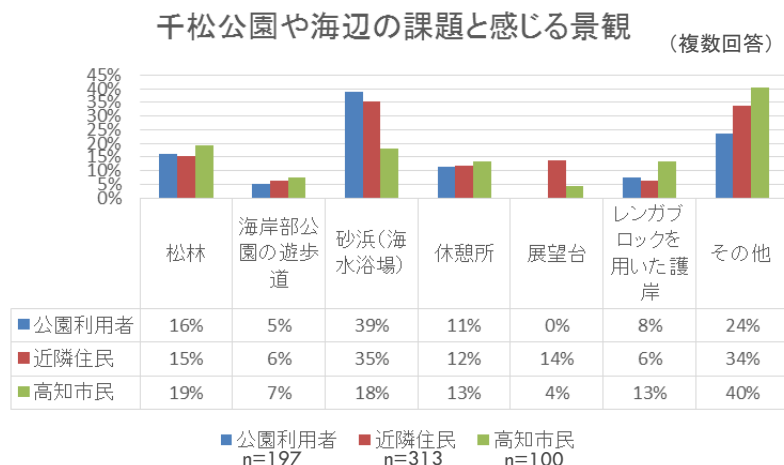


- どの属性でも類似する傾向があり、「松林」、「海岸部公園の遊歩道」が良い景観としてあげられている。
- 近隣住民のみ「砂浜(海水浴場)」が低くなっている。

理由

- 松林: 夏場は木陰が涼しく、快適に散歩ができる
- 遊歩道: 海辺の眺めが良い、散歩に適している

(9) 千松公園や海辺の課題と感じる景観



- 「砂浜(海水浴場)」、「その他」が高い傾向がある。その他の意見としては、海辺のゴミや雑草、巨大なテトラポットなどがあげられている。

理由

- 砂浜にゴミが多い
- ベンチなど壊れた公園施設がある
- 展望台が小さい、少ない、場所が悪く死角になる。

2-7. 意識調査の結果

(10) 現状の公園施設のよい点・課題点 ...園内施設、園路・階段・スロープなど

よい点

■海浜公園（遊歩道や休憩所）

- 海への眺望が確保されている（休憩所や遊歩道から）。海を身近に感じることができる。
- 高いところから海を見渡せる。
- 程よいところにベンチや休憩所が設置されている。テーブルも設置されていて食事も楽しめる。
- 高知港に入出港する船舶を身近に見ることができる。
- サカナのモニュメントや日時計で孫と一緒に遊ぶ。

■千松公園

- 木陰が多くて散歩に適する。
- 子どもの遊び場、BBQやキャンプなどの多目的に利用できる松林。

■園内アクセス

- 駐車場から砂浜やトイレ、松林などの公園施設へのアクセス性がよい。

■園路・階段・スロープ

- 現状で十分に設置されている。スロープが歩きやすい。
- 周辺に馴染んでいる。

課題点

■駐車場へのアクセス

- 園外から駐車場の位置が分かりにくく、アクセスしにくい。

■海浜公園（遊歩道や休憩所）

- 遊歩道がもっと長く続いていたなら散歩が楽くなる。
- 展望台が低い。津波避難タワー兼用にできないか。

■千松公園

- 松が少なくなったと感じる。一方で、松が生えすぎていて見通しが悪く怖い。
- 夜の照明が少ない。
- 休むところが少ない。
- 遊具やベンチ等が老朽化している。

■砂浜

- 砂浜が減った。
- 遊歩道上の監視所から波打ち際が見えない。

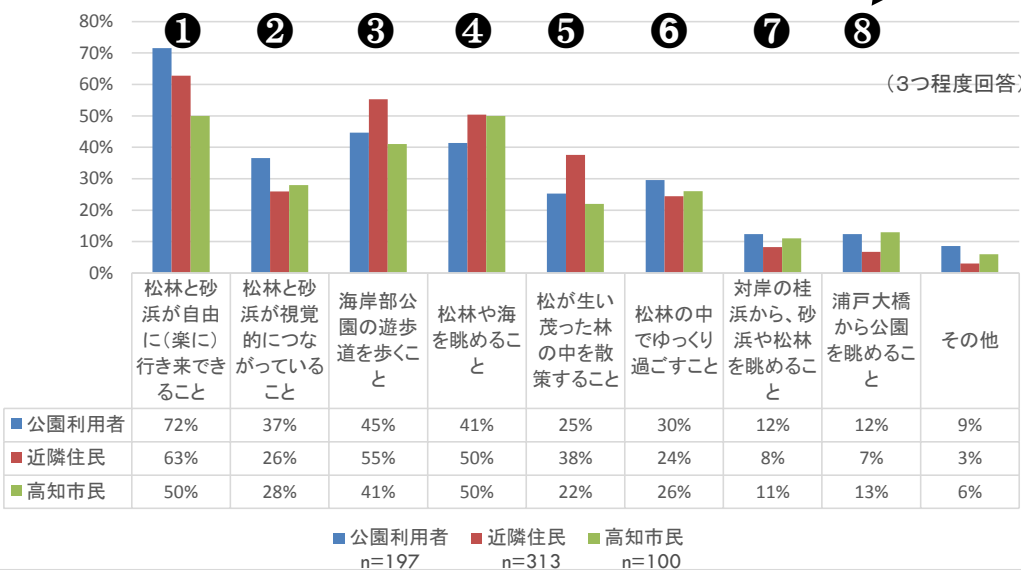
■園路・階段・スロープ

- 階段の勾配がきつい。手摺りがない。
- ブロックがガタガタしていたり、陥没しているところがある。
- 砂浜側の階段護岸が歩きにくい。

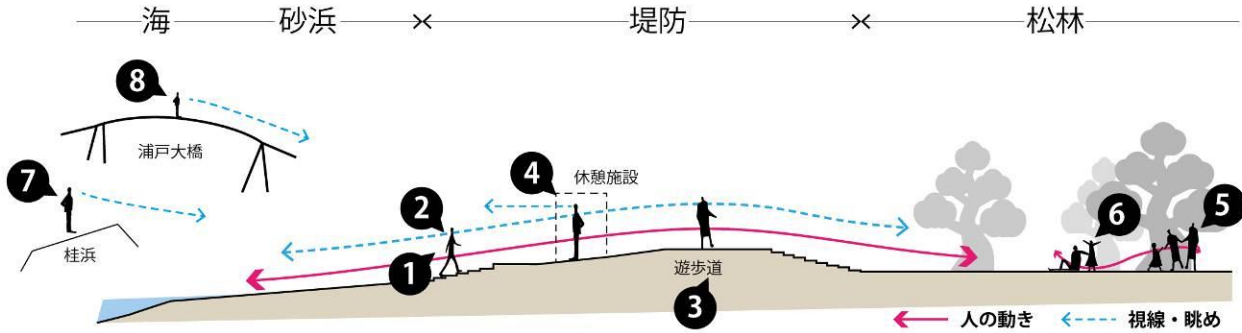
2-7. 意識調査の結果

(11) 千松公園や海辺で大切にしたい体験や景観

下図に対応



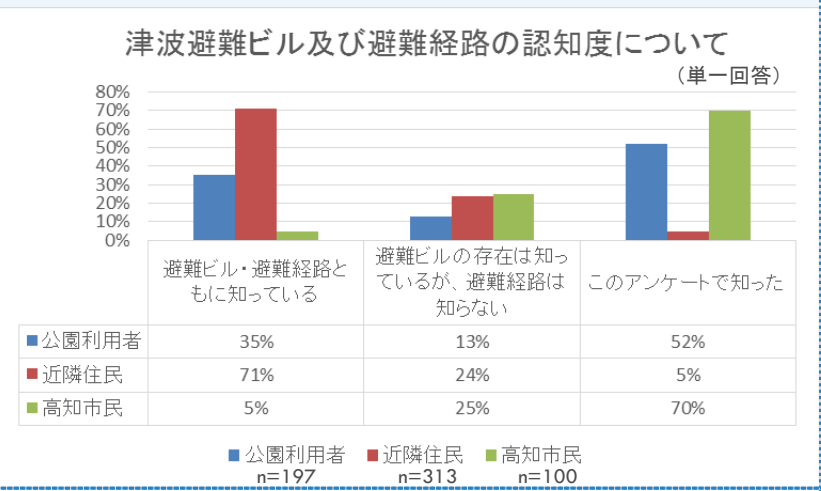
- どの属性においても「松林と砂浜が自由に(楽に)行き来できること」の回答が多い結果になった。
- 「松林や海を眺めること」、「海岸部公園の遊歩道を歩くこと」も回答が多い。
- その他の意見としては、桂浜や浦戸大橋までの一連の眺め、客船の眺め、釣り、園内で様々な活動があること(活動を見られること)などがあげられた。
- 公園全体の行き来(海辺⇄松林)や行き来する際に海岸部公園から海や松林を眺めることは、利用者にとって重要な体験や景観要素となっていると考えられる。



※あくまでイメージであり、人や松などは分かりやすい大きさに描いています。

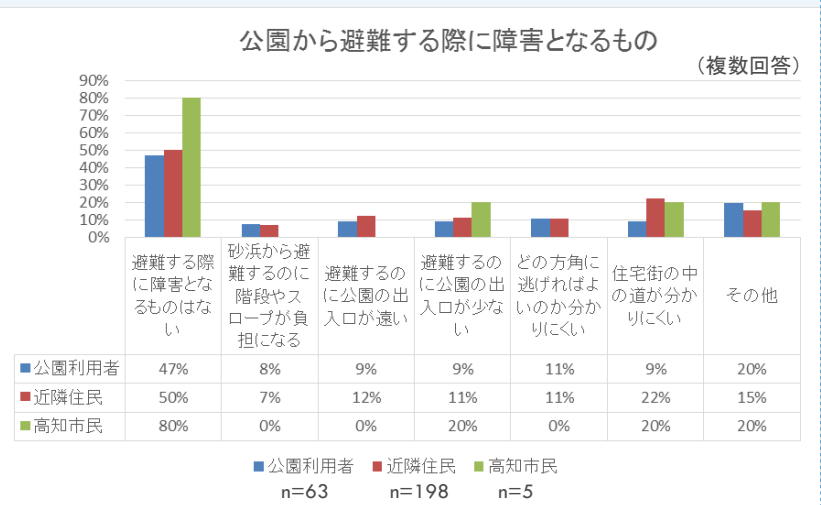
2-7. 意識調査の結果

(12) 津波避難ビル及び避難経路の認知度について



- 近隣住民は避難ビル・避難経路ともに知っている割合が多いが、公園利用者及び高知市民は50%以上が避難ビル・避難経路ともに知らない結果となった。

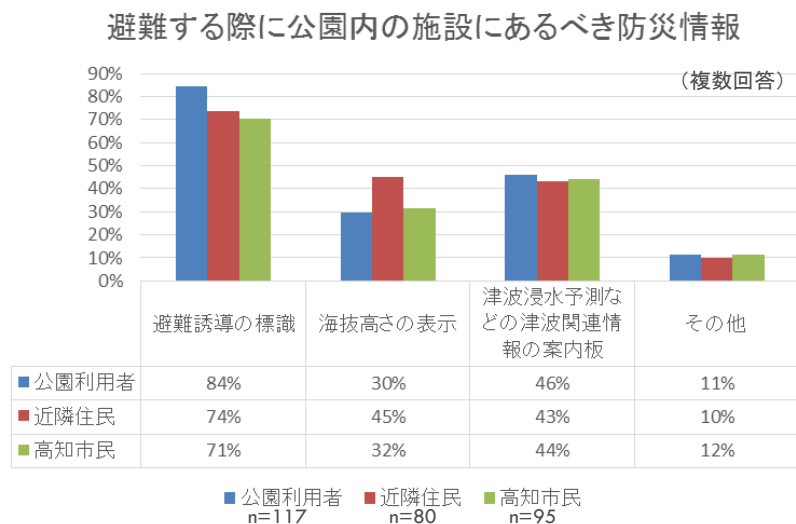
(13) 公園から避難する際に障害となるもの



- どの属性においても、避難ビル・避難経路を認知している回答者は、障害となるものはなかった。
- その他の意見としては、住宅街の道幅が狭い、ブロック塀等が倒壊しそう、道を誤って遠回りしそうなど、住宅街内の避難路に対する意見が多いが、全般的に標識や誘導看板などが不足しているとの意見もあった。

2-7. 意識調査の結果

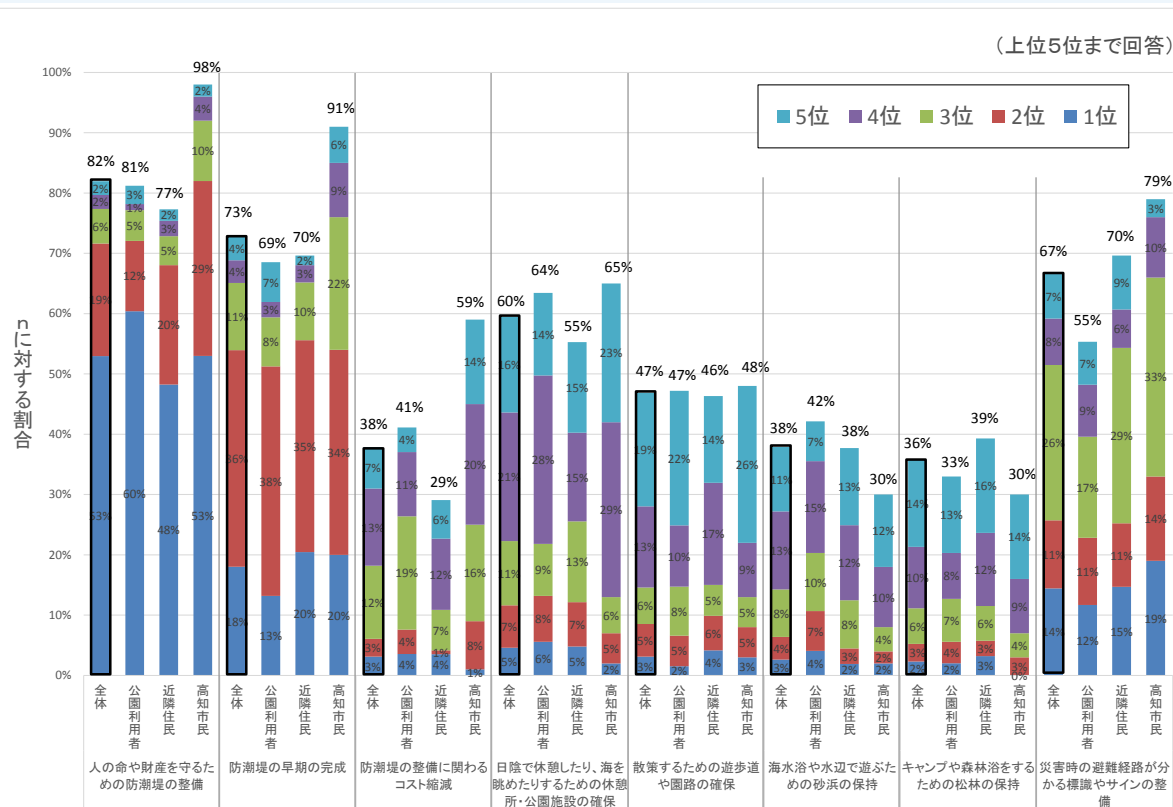
(14) 避難する際に公園内の施設にあるべき防災情報



- どの属性においても、70%以上の回答者が避難する際に公園内の施設にあるべき防災情報として「避難誘導の標識」を選択している。
- また、どの属性においても40%以上の回答者が「津波浸水予測などの津波関連情報案内板」を選択している。
- その他の意見としては、放送、夜間の足下灯、園内の高台・タワーなどがあげられた。

2-7. 意識調査の結果

(15) 地震津波対策を行う際の配慮すべき優先事項



全体n=610／公園利用者n=197／近隣住民n=313／高知市民n=100

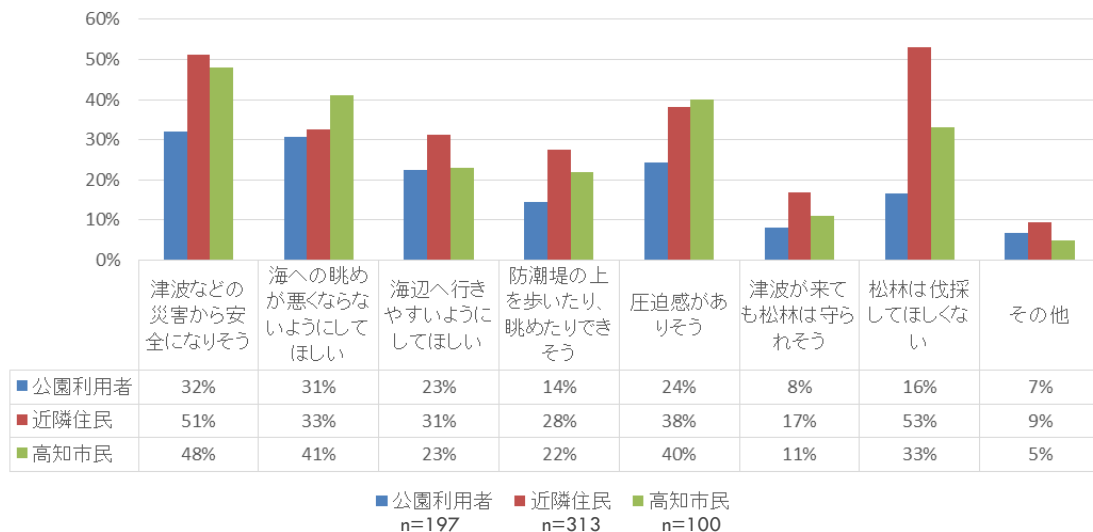
- ・ 防災に関する項目のうち、「防潮堤の整備」、「早期完成」、「標識、サイン整備」は優先順位、回答割合ともに高い結果となった。
- ・ 属性別に見ると、防潮堤整備や避難に関する項目については、特に高知市民の回答割合が高い。
- ・ 利用の面では、「休憩施設」、「散策するための遊歩道等」の意見が多かった。
- ・ 属性別に見ると、多少の大小はあるものの、同様の傾向にある。

2-7. 意識調査の結果

(16) 防潮堤の印象

防潮堤の印象

(複数回答)



- 防潮堤の印象に関する項目のうち、「津波などの災害から安全になりそう」という回答が多かった。
- 上記に次いで、「海への眺めが悪くならないようにしてほしい」、「圧迫感がありそう」といった景観に対する影響を懸念する回答が多い結果となった。
- その他の意見としては、眺めもよく安全も確保してほしい、不審者など治安が心配、防潮堤に賛成(必要)・反対(不要)などの意見があげられた。

提示した
イメージ画像

アンケート調査結果の概要（具体的なご意見）

2-7. 意識調査の結果（具体的なご意見）

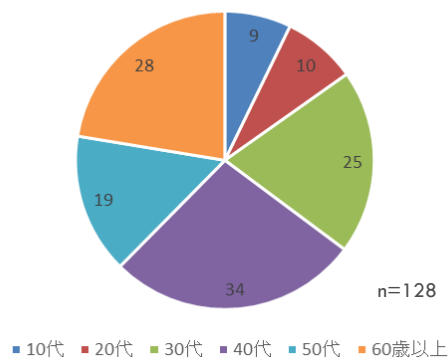
	海岸利用者	近隣住民	高知市民
防災面	安全なものをつくって欲しい。	防潮堤は予想以上の津波が来ても 住民の命や財産が守れるように整備 して欲しい。	いつ南海地震が起こってもおかしくない状態なので、 早急な対策 をお願いします。
	堤防をもっと高くして欲しい。	津波の高さに対し 防潮堤の高さが足りない という意味がない。	出来るだけ災害を防ぐ対策をお願いします。
	少しでも津波の被害を軽減するために 防潮堤をできるだけ早めに造って欲しい 。	高さや強度をしっかりと行って欲しい 。	防災は無理でも 減災の為の時間稼ぎの出来る施策を希望 。
	防潮堤の 外観を盛土工法 にして欲しい。	頑丈な杭を打って欲しい 。	階段式護岸だけではなく、 防潮堤を盛り土形式 にして公園利用も図る。
	少しでも 逃げる時間をかせげる ようにして欲しい。	耐震工事や嵩上げ工事は 早急に取り組んでもらいたい 。	費用を抑えながらもできる限り早く作ってくれと安心する 。
	南海トラフに向けて 日本一の堤防 をつくって欲しい。	海岸部公園の 遊歩道を高く して欲しい。	津波対策をするなら 景観より徹底して安全を重視した整備 に切り替えて欲しい。景観よりも大切だと思う。
	見た目も大事だがそれ以上に防潮堤は大事です 。	砂浜で遊ぶ人が 早く避難できるように階段を多く設置 して欲しい。	防潮堤があれば安心できると思う 。
景観面	防潮堤は良いと思うけど 圧迫感がある 。	防潮堤が出来る と圧迫感 がありますが、命にはかえられません。一日も早い完成を願っております。	砂浜や海からの眺めを壊さない防潮堤 にして欲しい。
	防潮堤は高いのが良いが、 海が見えなくなる ことが懸念です。	千松公園の 松と海水浴場の砂浜は絶対残して下さい 。	防潮堤などで景観が悪くなるものの、人命には変えられないので止むを得ないと思う。ただ、たくさんのアイデアで 景観の良さも両立出来たら とも思える。
	景観が良いから、 防潮堤等の整備で損なうことがない よう折り合いをつけて上手く設置して欲しい。	命のことを思うと防潮堤は絶対に必要ですが、日々の憩いの場所でもありますので 自然と親しめる配慮も絶対に欲しい です。	整備時に 自然破壊をしないこと 。作業時の周辺人民への配慮が必要。（騒音、砂煙、ゴミなどで生活環境を破壊しないこと）
	景観重視で命を守りながら造って欲しい 。	自転車も通りやすい 様になれば嬉しい。無機質な防潮堤にならないよう、津波だけの対策ではなく、 憩うことのできる場所 になれば嬉しいです。	出来るだけ 自然を残して欲しい 。
	自然を残しつつ人を守るもの にして欲しい。	自然と調和した地震対策 をお願いします。	難しいことですが 今の景観を損ねないように して欲しい。
利用面	海側→松林へ自由に行き来できるように して欲しい。	防潮堤の上を歩けるようにして欲しい。	安全が一番なので、 必要な防潮堤を造ったうえで遊歩道等を整備 して欲しい。
	防潮堤の上を歩ける ようになればそれはそれで楽しめそう。	防潮堤などを 自由に活用 できるようにして欲しい。	—
	防災だけでなく、他の使い方もできるような防潮堤にして欲しい。	公園利用者が 楽しく安全に利用 できるようにして欲しい。	—
	自転車で散策 に来やすいようにこれからもお願いします。	防潮堤を拡めに、 自転車も通りやすい 様になれば嬉しいです。	—
	犬の 散歩 ができるようにしてほしい。	老人の散歩や子供の遊び場として 地元民に愛され また夏には、今でも 海水浴客、キャンプでにぎわっている のでその面も考慮した設計をぜひお願いしたい。	—
	（防潮堤ができて）立ち入り禁止にならないでほしい 。	千松公園、海水浴場へのアクセス を大事にしてもらいたい。	—
	整備の進捗状況を周知 して欲しい。	防潮堤は強さ、高さはもちろんですが、 非日常時の陸こう閉鎖が絶対 です。	防潮堤もいいが千松公園内にも津波タワーがあってもいいのではないかな。
その他のご意見	自分たちの地区なので整備を始めたら 工事の説明を詳しく、色々説明 して欲しい。	階段の所の魚のモチーフや日時計は孫と一緒に楽しく遊べます。	種崎千松公園より貴船神社のあたり（浦戸大橋の下）それに県道渡船から造船所までの間を対策しないとだめでは無いか。
	排水が大事であって 浸るものは浸る 。	千松公園から渡し場までの 防潮堤（航路護岸）の強度を確保することと液状化対策 が必要だと思う。	津波は自然災害だから避難、誘導を優先して欲しい。
	大きなクルーズ船が来ているので、この辺りを高知の がっかり名所 と言われないうように整備して欲しい。	種崎地区は千松公園付近の防潮堤だけでなく、 浦戸湾に面した海岸線もしっかりと防潮堤を整備 なくては、意味が無いと思います。	地震・津波の規模が小さければ、防潮堤も有効だとは思いますが、規模が大きいと津波に簡単にのまれ、無意味に終わりそう。もっと確実に人命を助けることのできる、 強固で大きな避難タワー 等が良いと思う。
	避難タワーへの標識（矢印、あと何mか）がない。	桂浜沖の防波堤が津波に対して大丈夫か？もう少し長く丈夫にする必要があるのでは 。	—
	地震や津波が起こった時に安全に避難できる場所、経路をつくってほしい。	津波対策やこういった防潮堤に整備について今後可能であれば 地元住民を対象にした説明会や学習会を開いていただけたら理解も深まる と思います。	—
	ソフト対策（避難訓練）が必要です。	細やかな広報や告知を希望 します。	—
	お年寄りとか身軽に動けない人達にも定期的な説明や訓練は必要だと思う。	コスト削減の為に他の項目（景観、利用、防災）を外さないで下さい。	—
			—
整備に対する厳しいご意見	堤防が昔あってそれを壊して遊歩道などを作ったのに、また造るなんて税金の無駄だと思う。ばからしい。	防潮堤に大反対です。自然の力に勝てるはずはない。海（=波）が見えなければ津波の大きさも解らない。種崎地区は水はけが良く今のままで暮らし易い。やっとな橋の耐震工事が終わったばかり、これ以上騒がしくなると暮らせない。	自然には、勝てないから高い防潮堤を作っても意味ないと思います。なので高い避難塔を景色を損なわない程度にいくつか造ったほうが良いと思います。
	防潮堤は造らないで欲しい。	防潮堤の意味があるのかどうか。	いくら堤防を作っても津波が来れば種崎半島は壊滅状態になります。堤防の予算を福祉にあてて欲しい。
	そんなことするなら避難タワーなどをもっと整備したり、津波で家を失った人への負担などをしてほしい。	津波は湾口から入ってくるので公園やその北方をこえてくるとは思えない。又どれだけ波の到達を遅らせるかははっきりした時分は不明。多大の費用をかけて防潮堤を作り景観をそこなう必要があるのか。	行き過ぎの津波対策、地震対策はやめて下さい。

2-7. 意識調査の結果

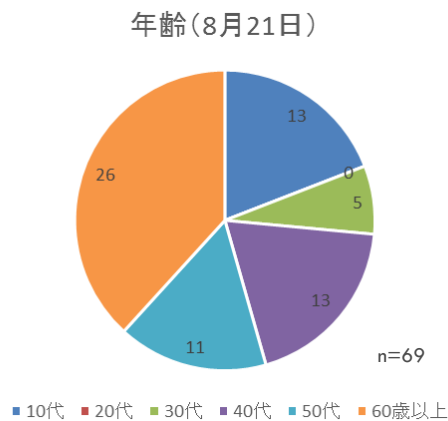
(17) アンケート回答者の属性(年齢)

① 年齢

年齢(8月20日)

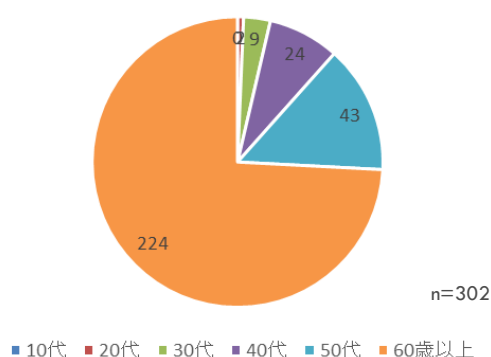


海岸利用者(休日)

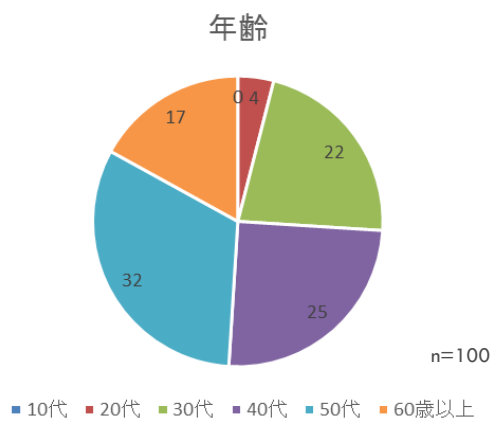


海岸利用者(平日)

年齢



近隣住民



高知市民

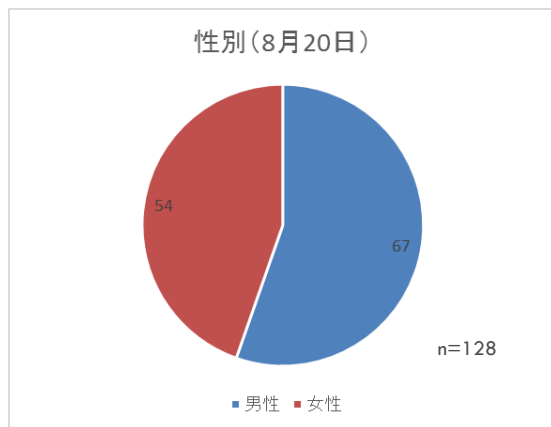
- 海岸利用者は、休日は40代の利用が最も多い。10代や20代の利用も見られる。
- 平日は60歳以上が最も多い。20代の利用は見られなくなった。
- 近隣住民の回答割合が60歳以上が75%程度となっている。10～20代の回答はほとんどみられない。
- 高知市民は50代の割合が多いが30代、40代、60歳以上の割合も多い。

2 アンケート調査結果の概要（調査対象者の属性）

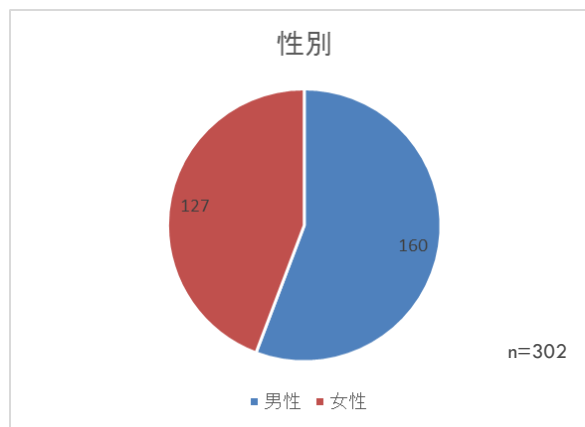
2-7. 意識調査の結果

（17）アンケート回答者の属性（性別）

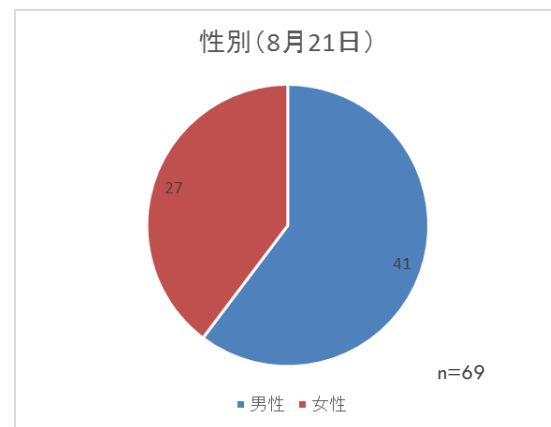
② 性別



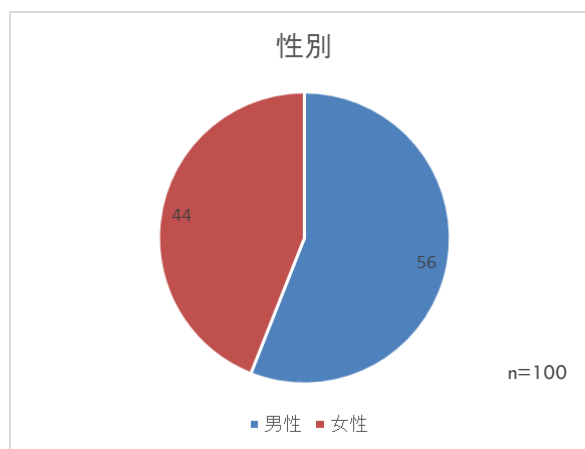
海岸利用者（休日）



近隣住民



海岸利用者（平日）



高知市民

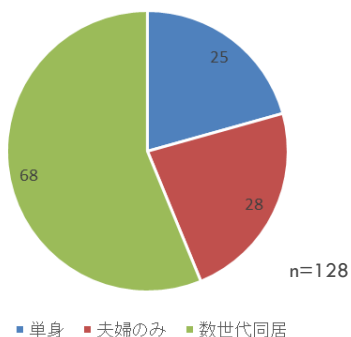
- 海岸利用者は休日、平日ともに男性が多い傾向にある。とくに平日は男性の割合が休日よりも多い傾向にあった。
- 近隣住民、高知市民においても男性の方が多い傾向にある。

2-7. 意識調査の結果

(17) アンケート回答者の属性(世帯形態)

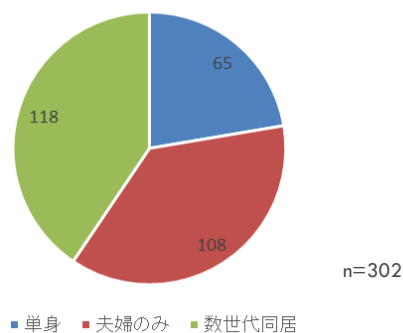
③ 世帯形態

世帯形態(8月20日)



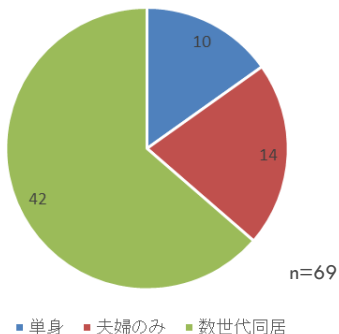
海岸利用者(休日)

世帯形態



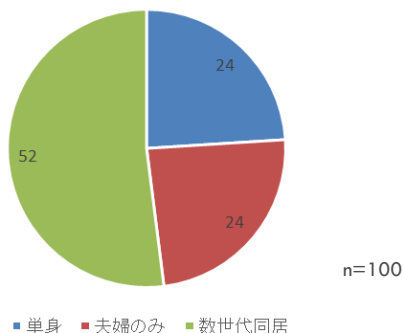
近隣住民

世帯形態(8月21日)



海岸利用者(平日)

世帯形態



高知市民

- 海岸利用者は休日、平日ともに数世代同居が多い傾向にある。
- 近隣住民では、数世代同居が41%で夫婦のみが37%となっている。
- 高知市民は52%が数世代同居であり、単身、夫婦のみは24%であった。

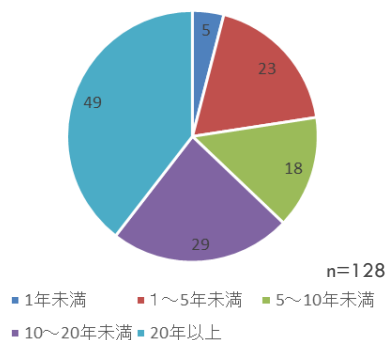
2 アンケート調査結果の概要（調査対象者の属性）

2-7. 意識調査の結果

（17）アンケート回答者の属性（居住年数）

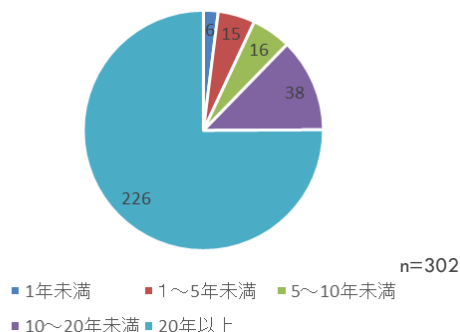
④ 居住年数

居住年数（8月20日）



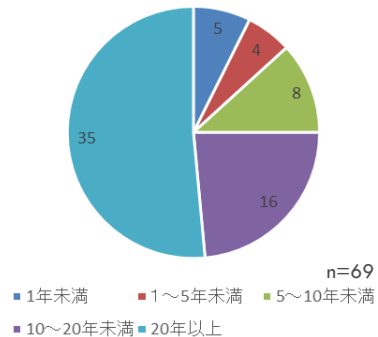
海岸利用者（休日）

居住年数



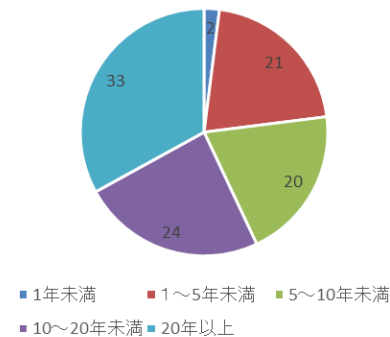
近隣住民

居住年数（8月21日）



海岸利用者（平日）

居住年数



高知市民

- 海岸利用者は休日、平日ともに居住年数が長い利用者が多い傾向にあった。特に平日については10年以上居住している割合が75%となった。
- 近隣住民では、1年未満の居住者は少なく2%であった。またもっとも多いのは、20年以上の居住者で全体の75%を占めている。
- 高知市民は1年未満の居住者は少なく2%であった。またもっとも多いのは、20年以上の居住者が回答していた。